

## 席を譲ってもらい感慨

「発言」（中日新聞）より

岐阜県の郷里へ墓参りのため久しぶりに電車に乗りました。車内は混雑していました。つり革を持ちつつ辺りを見回したら、目の前に座っていた少女が「座りますか？」と声を掛けてくれました。私はすぐに「ありがとうね」と礼を言って座りました。

電車で席を譲ってもらったのは初めてでした。「私も譲られる側になったんだ」と感慨深く思いつつも、その場で少女を褒めることは照れくさくてできませんでした。一緒にいた年下の子どもに乗り換える駅を教えている少女の声が聞こえました。どうやら水族館に行くようです。

少女のお陰で、私はその日、気持ちよく過ごすことができました。少女のような思いやりのある子どもが世に増えればいいな。

佐藤 弘美（愛知県知立市=主婦・62歳）



公共機関の乗り物に、優先席が設けられていることは周知のことです。好意で席を譲ろうとした人が、頑なに断られている場面を見かけることもあり、譲り合いの加減が難しい場合もあるでしょう。

Mさんが電車の座席に座っていると、老夫婦が乗車して来ました。優先席が1席だけ空いていたため、足腰の悪い奥様が座りました。

その隣に座っていた初老の男性が立ち上がり、席を譲ろうとすると、ご主人は「大丈夫ですから…」と断りを入れたのです。男性は「私の方が若いと思っております…」と遠慮がちに続けました。その言葉に、ご主人は「そうですね」と微笑み、頭を下げて、席に着いたのでした。Mさんは、席を譲る行為を断られても、再度別の言い方で勧めた男性の機転に感心しました。自身も高齢者と呼ばれる年齢に差し掛かっているMさんは、席を譲るとき、譲られた言葉や振る舞いについて考えさせられたのです。



## ストロベリームーン（6月の満月） 6/17



アメリカの先住民は季節を把握するために各月の満月に名前をつけており、6月がいちごの収穫時期であったことから、6月の満月を「ストロベリームーン」と呼んでいたと言われていました。それが近年、SNSなどを中心に話題となり広まったのですが、元々がイチゴの収穫時期に見える満月という意味のため、一部で言われているように、月がイチゴのようにピンク色に見えるということはありません。夕日が赤く見えるように月の出間もない月は赤みがかって見えること、さらに今の時期は空気中の水蒸気が多いため、19時～20時ごろの高度が低い月は少しピンク色っぽく見えるかもしれませんが、月が高くなるにつれていつものように白っぽく輝く満月になります。